

教育は教師なり



人間環境大学学長
牧山 助友 氏

私は教職大学院を評価する教員養成評価機構の創設に携わり、現在もその運営に関わっているところから、学校教育を担う教員について述べたいと思います。

わが国に公教育制度が成立するのは明治時代からですが、江戸時代には、武士を対象とした「藩校」や庶民の子供を対象とした「寺子屋」がありました。岡崎藩での「允文館」「允武館」は有名です。

明治五年の学制発布に併せ、学校教育を担う教師の養成も行われ、明治十三年には各府県に師範学校の設置が義務化されました。

現在、岡崎市に所在する義務教育学校の状況が「岡崎市の学校（平成二十九年三月発行）」により公表されています。

それによると、平成二十八年度は、小学校四十八校、児童数二二、五七八人、教員二、八八八人。中学校二十三校、生徒数一、四〇八人、教員七二六人となっています。



教育随想



平成 29 年 6 月 1 日

6 月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
人間環境大学学長
牧山 助友 氏
- この人に聞く…………… 2
「児童書専門店」店長
浅井 洋子 氏
- 羅 針 盤 …………… 2
緑丘小学校長 山本 知子
- ふれあい…………… 3
北中 太田 尚志
- 特 集…………… 4
読書を推進する新しい活動
本好きな子を育てるために
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー… 8
伝統の三河富士登山
(昭和 53 年)
- この本を…………… 8

児童生徒数が多かった昭和五十七年度では、小学校三十九校、児童数三〇、五一四人、教員一、〇九四人。昭和六十二年度では、中学校十七校、生徒数一六、〇四七人、教員六八七人でした。

児童生徒数の減少にも関わらず教員を減らさず増やしているのは、学校現場における様々な課題に対して、教員の役割が期待されているからかであると思います。

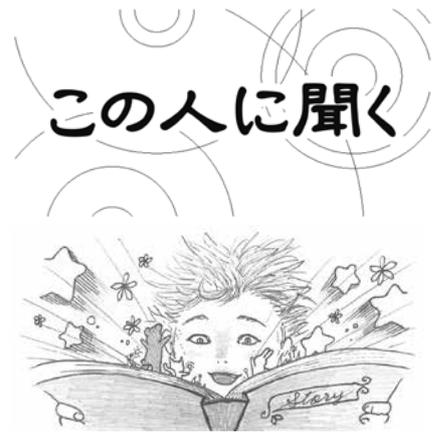
教員の質向上については、中教審答申（平成十八年七月）により「教職課程の質的水準の向上」「教職大学院の創設」「教員免許更新制の導入」が行われ、教育方法については、こ

のほど告示された「新学習指導要領」で「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラム・マネジメントの確立」が重視されています。

このように教育環境は昭和五十七年当時から比べものにならないくらい格段の進展と充実が図られています。

しかし、学校現場で子供と直接向き合い、人間形成に深く関わる教師の働きなしに教育実現はあり得ません。いつの時代も教師の役割と期待は大きいものがあると思っています。

(まきやま すけとも)



絵本は親子の心の絆

「児童書専門店」店長

浅井 洋子 氏

おとぎの国を思わせるかわいらしい外観の店舗のドアを開けると、ここにここと優しい笑顔で迎えてくださったのは、岡崎市で唯一の児童書専門店の店長、浅井洋子氏だ。

「小さいころは、毎晩寝る前に母が読み聞かせをしてくれました。学校から帰るとすぐ借りてきた本を読んでいますね。空想するのが好きな子供でした。」

本に親しみながら育った浅井氏は、二十歳のころ「岡崎子ども本の研究会」の立ち上げに参加し、読み聞かせを始めた。出産後、子供と一緒に通った、市内の児童書専門店の閉店が、店を始めるきっかけとなった。

「同じような本屋がほしい。子供の本から教えられたことを、たくさんの人に伝えたい。」

自ら児童書専門店を、一九九五年に開店した。同時に、店舗二階での読み聞かせも始めた。

「子育て中に、読み聞かせの良さを感じました。子供が、強い主人公の出てくる絵本を繰り返し読んでほしいと言ってきたときは、子供なりにつらいことがあったときでした。ね。気の弱い主人公に、心を寄せているときもありました。読んでほしいと持つてくる本や、読み聞かせた本の感想で子供の気持ちが変わる感じが取れていました。」

浅井氏は、読み聞かせによって、自分の子供と一緒につらいことを乗り越えたり、人の気持ちを理解する力を育てたりすることができたという。だからこそ、読み聞かせにこだわり続ける。

「学校で、友達にけがをさせた子がいました。その子が、けがをした子供に対して申し訳なく思っている気持ちも分かります。うちの子供が言っていたと先生から聞きました。自分の子供が、両方の立場の気持ち分かる子に育った、と思いましたね。」

小学生の子供を育てながらの、店舗立ち上げと経営をこなしていった。「うちのことをやりながらで大変で



したが、好きな本のことですから。」と、浅井氏はほほえむ。

「お店は親子でにぎわい、午後三時から読み聞かせも大盛況でした。」二〇〇六年、現在の材木町の店舗に移転。より広くなった店の奥には小さな子供が遊べるキッズスペースがあり、開店当初から変わらず、読み聞かせが毎週行われている。

「絵本は親子の心をつなぐ絆だと思います。たくさんの子供たちや親御さん方が、絵本の読み聞かせによって親子の絆を強め、信頼感を育んでほしいです。中には、ずっと来てくださる親子もいて、成長を感じると喜びがあります。本好きな子供が増えるその子が大人になり、さらに自分の子供に絵本の良さを広めてくれたらうれしいですね。」

浅井氏の温かなまなざしは、未来を生きていく親子に注がれている。

氏名 あさい ようこ

生年月日 昭和三十四年三月五日

住所 岡崎市康生町



伝統を受け継ぐ

若い教師たち

緑丘小学校長

山本 知子

ついに、二十二クラスのうち、十二クラスの担任教師の年齢が二十代となった。経験がほぼ六年未満で、教師の道を歩み始めたばかりの先生たちが半数を超えた。本年度の緑丘小はここからスタートした。世代交代をスムーズに進めることは、ここ数年、学校現場の課題であり、本校にもいよいよきたかという衝撃にも似た思っていた。

これまで、どのように若い先生たちに、本校の指導の重点を実践できるよう導いていくのが、ポイントとなっていたが、その重要性が一層高まった。本校では「関わり合い」を授業の中心に据えて、実践を進めてきた研究の流れがある。授業中に子供同士の関わり合いの場を設定することを想定すると、まずは子供同士



「できた」喜びが 自信になる

北中

太田 尚志

「賞状なんて、初めてもらった。」
うれしそうにつぶやいたA男の一言は、今でも忘れられない。

入学したときのA男は、明るく、学級代表を務めるほど意欲的な生徒であった。一方で、考えていたことがうまくいかないと、人や物に当たってしまうこともあった。

A男は、私が顧問をするメディア部に入学した。部活動でA男に関わってみると、「いろいろなことに挑戦したい」という気持ちと「思うようにいかない」という現実とに苦しんでいるようであった。そこでA男に「できた」という喜びを味わうことで自信をもってほしいと願い、きっかけを探した。

二年生のある日、部活動でコンテストに向け、B男の企画でテレビ番組を作ることにした。出演者として、主人公の友達を演じる生徒が四人

必要になった。しかしメディア部は、部活を休みがちな生徒が目立つことに抵抗がある生徒が多く、配役は難航していた。

なかなか撮影に入れず、B男と悩んでいたとき、A男がこちらを見つめていた。A男は明るく、目立つことが好きな生徒である。これはチャンスかもしれないと思った私は、A男に声をかけた。

「友達役、やってみるか。」

「うん。やってみよう。」

「じゃあ、笑顔で頼むよ。」

意気揚々と撮影に取り組みA男だったが、A男の演技がオーバーになり、B男のイメージに合わない。もつと自然な様子にしようと演技を伝えるが、A男はなかなかのみこめない。何度も撮り直し、A男の表情に疲労とあきらめがにじみ始め、私は危機感を覚えた。A男に「できた」という実感、何としても味わわせたい。私は、A男に問いかけた。

「自然な感じにするにはどうしたらいいかな。」

「え。僕が考えるの。」

「そう。普段、会話しているとき、どんな感じかな。」

「まず名前を呼んで、それから『暇なの』とか声をかけるのかなあ。」

「あ、いいじゃん。じゃあ、名前を呼んでからせりふに入ってみよう。アドリブで言葉を入れてもいいよ。」

A男の提案どおり友達の名前を呼ぶところから、撮影を再開した。す

ると、会話が広がり、自然な雰囲気

で撮ることができた。

最初の言葉は、入賞を知ったときのA男の言葉である。自分が提案した工夫によって、良い映像が撮れ、他者に認められたことは、A男の大きな自信につながったようだった。

三年生になったA男は、多少の苦労では落ち込まないようになった。コンテストに向け、音楽に合わせてコップでリズムを打ち鳴らす「カップス」の映像化に、粘り強く取り組んだ。文化祭で全校に披露すると、巧みな技術と編集に歓声が上がった。

最後に「企画・立案A男」とエンドロールが流れ、驚きの様子を見せる他の多くの生徒たち。それを見るA男の瞳は輝き、うれしさと自信に満ちあふれていた。



が周りの仲間を意識する気持ちがなければ、この授業は成り立ちにくい。

そこで、学校の目標に迫る合言葉に『仲間を大切にしていこう』というフレーズを入れた。また、学級経営も授業研究も、それぞれの担任教師が具体的な方途をイメージできるように、できるだけ分かりやすく示すことを心がけた。一部の熱心な先生がどんなに素晴らしい実践をしても、その他の先生が実践できなければ学校全体としては、指導の自身が空洞化してしまうと感じている。常に若い先生方の授業については丁寧な観察・指導を繰り返すよう、役割同士が連携して取り組んでいる。

学校の教育活動で、子供たちを大きく成長させるものとして、それぞれの学校の特徴ある活動がある。本校でもその一つに音楽カーニバルがある。年に一回、全校の前で、音楽発表を含めた学級ステージを披露する活動である。各クラスの個性を発揮できるように、学級ステージを子供と一緒に創り上げていくこの貴重な体験は、若い教師たちにとって、力量向上の場となるとともに、学校の特徴や伝統を考えるよい機会となっている。

今年も、多くの若い教師による、新たな輝きを放つステージ発表が登場すると思うと、心が躍る。



読書を推進する新しい活動

本好きな子を育てるために

▲ブックトーク後、読書を楽しむ子供たち（六ツ美北部小）

子供が感性を磨き、表現力を高めるのに読書活動は有効である。岡崎市では、市内すべての子供に読書環境・機会を提供していくため、平成二十一年度に策定された「岡崎市子ども読書活動推進計画」を継続している。この計画に基づいて、中央図書館、学校、関係各課だけでなく、地域の協力も得ながら、子供たちが本に親しむ場を提供している。さらに、家庭での読書環境を整える一助となればと、乳幼児とその家族を対象としたブックスタートの取り組みも行われている。学校では、ボランティアや担任による読み聞かせや読書週間を設定するなど、読書を推進する活動が行われてきた。さらにブックトークやビブリオバトルといった手法を用いた実践も行われるようになり、本に関心を高めさせるための読書指導の幅が広がってきた。

また、りぶらでは市内の子供たちなら無料で作ることができる読書通帳の活動が始まった。借りた本のタイトルが記帳され、読み続ける新しい喜びを生んでいる。

読書を推進する新たな活動によって、本好きな子供たちが増えることを願っている。

ビブリオバトル

「知的書評合戦」とも呼ばれる。対象によって公式ルールを変更して行われることもある。



▲紹介の練習をする生徒（竜南中）

【主な流れ】

- ①お気に入りの本を決める。
- ②本を紹介し合う。
- ③②に対して討論し合う。
- ④読みたくなった本に投票し、最多票を『チャンプ本』とする。

ブックトーク

1つのテーマに沿った本を複数紹介する。

【テーマの例】

- ・わたしたちのふるさと「岡崎」
- ・平和ってどんなこと
- ・オリンピックの選手の軌跡
- ・すてきな友達がいっぱい



▲岡崎をテーマにしたブックトーク（根石小）

学校での読書指導

岡崎市図書館交流プラザ「りぶら」での活動

読書通帳

市内の小中学生ならだれでも無料で通帳を作ることができる。平成29年1月より利用が開始されている。

通帳配付場所：子ども図書室カウンター
 読書通帳機設置場所：子ども図書室
 ポピュラーライブラリー
 対象者：市内在住または市内在学の小・中学生



貸出日	本のタイトル
1 170123	きらめく船のあるところ
2 170123	だからそっとおやすみなさい
3 170123	やっとあえたわ
4	



▲ 読書通帳と記帳されたページ

▲ 読書通帳機



読書通帳ができると知り、家族でりぶらに行き、作ってもらいました。たくさん本を読みたいです。

【五年児童】

ブックスタート

家庭で読み聞かせを楽しめるように、絵本やブックリストなどが提供される。

場所：子ども図書室 おはなしのへや
 曜日：毎週月曜日・木曜日
 対象者：生後6か月以上1歳6か月未満の乳幼児とその保護者

▶ブックスタートバッグ
 岡崎市出身の瀬川康男氏の絵本「いないいないばあ」やブックリストなどがプレゼントされる。



▶ポリオ予防接種会場にて
 図書館に来館できない方のために、予防接種や検診の会場でも行われるようになった。



そのためにも大人が読書環境を整える必要があると考えています。

読書は、子供たちの心を豊かにすることができます。幼いときから本にふれ、心に残る一冊と出合えることを願っています。

岡崎市立中央図書館部
 資料提供サービスマン
 前主幹
 三宅 知子氏

▶ボランティアグループによる紙芝居
 (おかざき世界子ども美術博物館)



おはなし会

▶岡崎出身の作家北川チハル氏の講演会



講演会

地域施設での活動

子供たちが本に接する機会を増やすため、市内の市民センターやおかざき世界子ども美術博物館で、職員やボランティアによる「おはなし会」が行われている。

読み聞かせだけでなく、紙芝居や手遊び、作家を招いた講演会といった活動もある。



● 芸術鑑賞会

今年度も芸術鑑賞会を行う。
芸術・文化活動の優れた作品等の鑑賞や体験活動を通して、子供たちの感性を育み、未来を担う子供たちの健やかな成長を図る。

○参加日時は学校ごとに指定する。

● 表彰

◆ 県ヴォーカル・アンサンブルコンテスト

○中学校の部

金賞 六ツ美北中 合唱部

銀賞 六ツ美北中 合唱部

(わらべっこ)

(なつめっこ)

◆ ターゲット県大会

(アーチェリー)

○リカーブ60m部門女子

三位 東海中 内田郁美

◆ 県中学生体重別柔道大会

○男子50kg級

三位 六ツ美北中 太田隆介

◆ 中部日本卓球選手権大会県予選

○中学生の部女子

中部日本大会出場

北中 近藤優衣 永瀬実子

新香山中 柴田菜那

○場所 岡崎市民会館
・午後の部 十三時三十分
・午前の部 十時
八月二日(水)
・午後の部 十三時三十分
・午前の部 十時

○演目 『ガンバの大冒険』

● 小中学校のようす

平成二十九年度の岡崎市内の小中学校の概要がまとまった。五月一日現在の学校数を表に示した。

昨年度と比較すると、一校あたりの児童・生徒数は、小中学校が四名の増加で、中学校が七名の減少となった。通常学級数は、小学校が九学級増加で、中学校が二学級減少している。特別支援学級数は、小学校が十七学級増加で、中学校が四学級増加している。

岡崎市内の全小中学校の児童は二〇七名増加し、全中学校の生徒は一一八名減少し、総数では八十九名の増加となった。教員数は、二十・五名の増加となった。再任用教諭は、

六十五・五名である。教員補助者は、十九名の増加で、総数二三四名である。そのうちの十三名は、養護教諭支援員である。英語支援員は十八名、ALTは二十名である。

● 学校・学級の規模 (市内平均)

	小学校	中学校
1校当たり児童・生徒数	471人	537人
通常学級数	721学級	305学級
特別支援学級数	122学級	52学級

● 学年別児童・生徒数 (人) (平成29年度5月1日現在)

学年	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
男	1,956	2,007	1,926	1,936	1,894	1,795	1,809	1,818	1,939
女	1,848	1,780	1,777	1,719	1,794	1,745	1,733	1,703	1,756
計	3,804	3,787	3,703	3,655	3,688	3,540	3,542	3,521	3,695

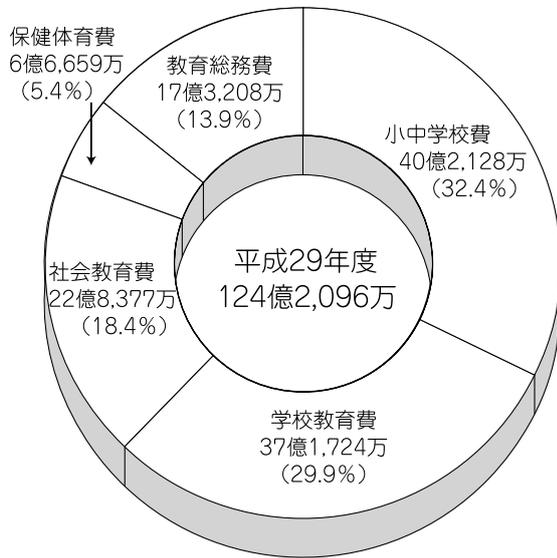
● 児童・生徒・教職員数 (人) (平成29年度5月1日現在)

区分	学校数	学級数 (内特別支援)	児童・生徒 (人)			校長・教頭・教諭 (人) *養護教諭・栄養教諭・ 再任用教諭・期限付き講師			栄養教諭・職員 (人)	事務職員 (人)	養護教諭 (人)
			男	女	計	男	女	計			
小学校	47	842 (121)	11,514	10,663	22,177	464	703	1,167	11	57	51
中学校	20	357 (52)	5,566	5,192	10,758	367	284.5	651.5	1	26	24
合計	67	1,199 (173)	17,080	15,855	32,935	831	987.5	1,818.5	12	83	75

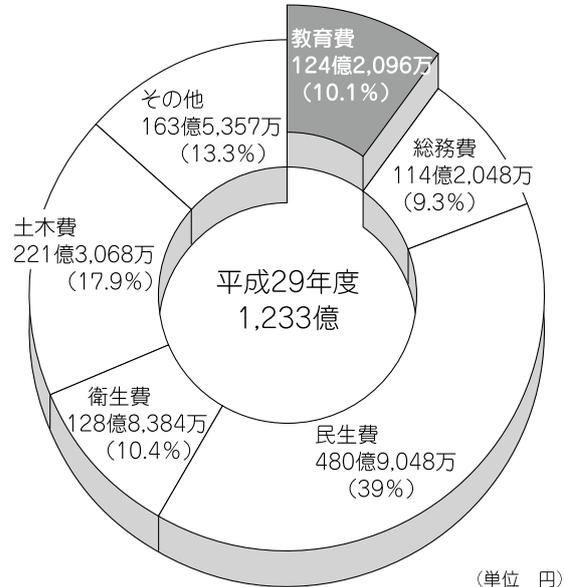
平成29年度 岡崎市の教育予算

飛躍の年 次の100年に向けて歩みを進める予算

〈教育費の内訳〉



〈一般会計予算〉

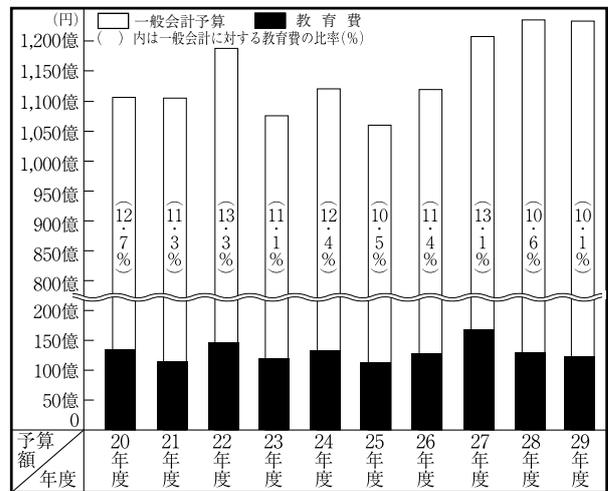


(単位 円)

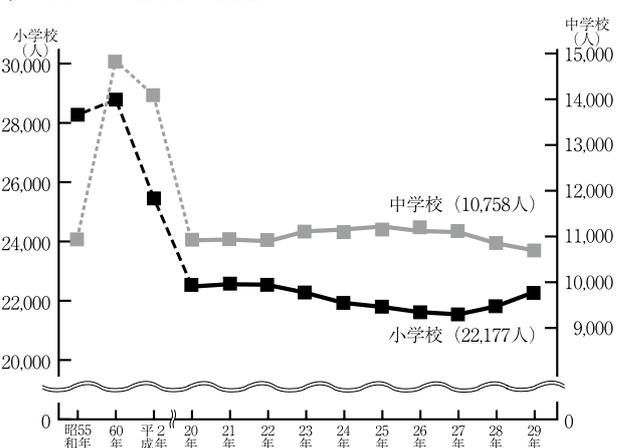
◆平成29年度のあらまし◆

小中学校費	校舎増築整備 (矢作北小) 夏山小学校プール更衣室改築工事 音楽室等空調整備 (梅園小・根石小・竜美丘小・広幡小・井田小・細川小・矢作北小・上地小・福岡中・河合中・常磐中・六ツ美中・新香山中・額田中) 便所簡易改修 (羽根小・六ツ美南部小・北野小) 屋体・校舎外壁等改修 (奥殿小・矢作南小・城南小・下山小・葵中・竜南中) 便所全面改修 (緑丘小・矢作東小・額田中) 高圧受電設備改修 (六名小・六ツ美北部小・東海中) 強化ガラス取替 (矢作東小・六ツ美中部小・六ツ美南部小・矢作中) 太陽光発電設備設置 (六ツ美南部小・北野小) ※小中学校名は予定 就学援助事業 (要・準要保護児童生徒、特別支援教育就学奨励、入学準備金)
学校教育費	行事開催事業委託及び指導研修 教育の振興、研究助成 児童・生徒の健康診断・健康維持 小中学校各種スポーツ大会開催 児童・生徒の健全育成、生き方教育の推進 学級集団評価支援委託業務 (hyper-QU) 全中学生対象 スーパーサイエンススクールの推進 タブレット型情報端末導入業務 学校情報メールシステム運用業務 成績処理・進路指導システムの運用管理 小中学校校務支援業務 中学生三大陸国際理解教育推進業務 学齢簿・就学援助システムの運用管理 総合学習センター・教育相談センター管理運営 学校給食事業
社会教育費	家庭教育推進事業 生涯学習推進事業 青少年健全育成推進事業 文化財保存管理事業 文化財整備活用事業 視聴覚事業 少年自然の家管理運営及び施設整備事業
教育総務費	奨学金関連業務 私立高等学校等授業料補助業務

◆一般会計予算と教育費の推移



◆児童・生徒の推移 (数字は毎年5月1日現在)



・カ
ツ
ト
甲
山
中
大
竹
紗
弥
加

伝統の三河富士登山 (昭和53年)

写真提供：生平小学校

愛知県の里山としても紹介されている三河富士は、生平学区に位置している。昭和五十三年に、子供からお年寄りまで皆が参加する三河富士登山が、学区との共催で始まった。蓬生町の集落から出発する登山は、最後のひと登りが急なコースとなっている。一歩一歩進み険しい道を登り切ると、遠くの山々が見られる、頂上の絶景ポイントにたどり着く。生平小ではこの行事が、今秋にも計画されている。体力を使い果たして登山を終えた後にふるまわれる、PTAの方々が作る「猪汁」は、また格別な味である。

このような、学校と地域が協力する行事は、現在も市内各小中学校で取り組まれて続けている。



本
の
表
紙
を
め
く
と
と
広
が
る
物
語
の
世
界
。
読
み
聞
か
せ
て
子
供
た
ち
は、お
話
の
世
界
に
引
き
込
ま
れ
て
い
く。
浅
井
さ
ん
は、読
み
聞
か
せ
は、親
の
心
を
温
か
く
つ
な
ぐ
絆
だ
と
い
う。
子
供
が
成
長
し
て
絵
本
の
世
界
か
ら
巣
立
つ
て
い
つ
て
も、そ
の
絆
は
し
つ
か
り
と
温
か
く
親
子
を
つ
な
ぎ
続
け
る。

問
い
か
け
に
よ
っ
て、子
供
の
放
つ
輝
き
は
大
き
く
変
化
し
て
い
く。
機
を
逃
さ
ず
発
した
教
師
の
一
言
が
A
男
の
演
技
を
変
え、生
き
生
き
と
し
た
様
子
で
撮
る
こ
と
が
で
き
た。
そ
の
姿
は
自
信
と
な
り
普
段
の
生
活
を
よ
り
輝
か
せ
る。
今、目
の
前
に
い
る
子
供
た
ち
に
寄
り
添
い、声
を
掛
け
る
教
師
で
あ
り
た
い。

ど ホ

ツ

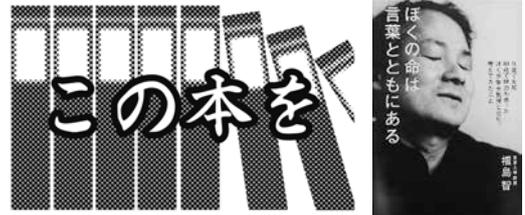
水無月



初めてのプール ～1年生～
(大門小)

通学路を、小学校の通学班が新一年生を入れて、ゆつくり一列で歩く。その横を、つい三月までは一緒に先頭を歩いていた子が、中学校へ通うために、声をかけながら自転車で追い抜いていく。

「おはよう」「おはよう」それぞれ
の成長を、互いに感じる朝。



*ぼくの命は言葉とともにある 福島 智
致知出版社 ￥1,600

心に残った一文
ともかく生きている、それだけで人生の
テストで九十点を取れている。

思春期に光と音の世界を喪失し、暗闇の世界に身を置いた著者。現在、東大教授として活躍する著者が、生きるということにどう向き合い、指字を通して言葉というものをどう考えてきたかについて著されている。私たちが普段何気なく行っているコミュニケーションが、人間にとって、こんなにも深く重い意味をもつということに改めて思う。

SNSやメール全盛の時代だからこそ、生きた言葉で、与えられている感覚を駆使してコミュニケーションを行うことの大切さを、改めて考えさせられる。

- *人を奮立たせるリーダーの力 平尾 誠二
マガジンハウス ￥1,200
- *伝えることから始めよう 高田 明
東洋経済新報社 ￥1,600
- *ハードワーク エディー・ジョーンズ
講談社 ￥1,400

新香山 中 名倉 嘉章